# くましんの現況

(2025年9月末現在)



# 半期情報の開示につきまして

平素より当金庫をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。 2025年度上半期(2025年4月1日~2025年9月30日)の当金庫の業績をお知らせ致しますので、 ご高覧下さいますようお願い申し上げます。

# (注) 以下に掲載する計数は、仮決算に基づくものであり、監査法人の監査を受けたものではありません。

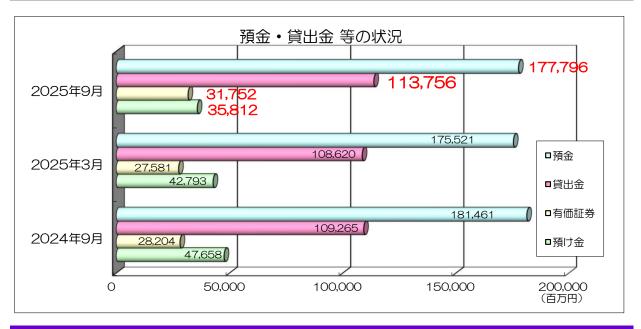
#### 預金・貸出金 等の状況 (半期末残高)

預金は**22億円増加**(2025年3月末比)し、1,777億円となり、

貸出金は51億円増加(2025年3月末比)し、1,137億円となりました。

(単位:百万円)

				2024年9月	2025年3月	2025年9月
預			金	181,461	175,521	177,796
貸	出		金	109,265	108,620	113,756
有	価	証	券	28,204	27,581	31,752
預	け		金	47,658	42,793	35,812



# 収益の状況

経常収益は、前年同期比38百万円増加し、3年連続の増収となりました。

本業の儲けを示すコア業務純益は、前年同期比で3百万円増加し、3億96百万円となりました。

当期利益は、前年同期比で62百万円減少し、2年ぶりの減益となりました。

(単位:百万円)

				2024年9月 (半期)	2025年3月 (通期)	2025年9月 (半期)
経	常	収	益	1,689	3,309	1,728
業	務	純	益	345	530	396
実	質 業	務 純	益	345	530	396
	ア業	務 純	益	393	714	396
一(除	ア 業余く投資信	務 純 託解約損	益 益)	339	660	396
経	常	利	益	428	616	362
当	期系	屯 利	益	326	459	264

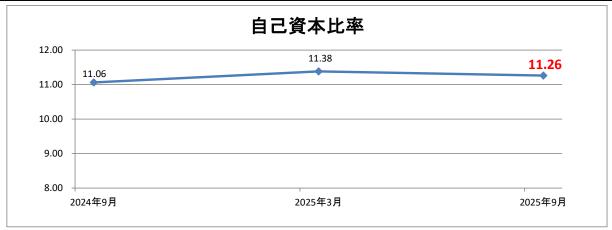
# **単体自己資本比率(国内基準)**

今仮決算における自己資本額は、内部留保の積み増し等により、<mark>94億5百万円</mark>となりました。

自己資本比率は国内基準の4.0%を上回る11.26%となっております。

(単位:%、百万円)

(バーゼル皿)						2024年9月	2025年3月	2025年9月
自	2	資	本	比	率	11.06 %	11.38 9	% 11.26 %
自	2	資	本	の	額	9,160	9,177	9,405
	ア資	本に係	る基	礎 項	i 🗏	9,662	9,778	10,057
	ア資	本に係	る調	整項	i 🗏	501	600	652
IJ	スク	・ ア	セッ	トの	額	82,785	80,620	83,515
所	要		] 資	本	額	3,311	3,224	3,340



自己資本の算出方法を定めた「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫および信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」が平成25年3月8日に改正され、平成26年3月31日から改正後の告示が適用されたことから、平成26年3月期からバーゼルⅢ国内基準に基づく開示を行っております。

# 有価証券の時価情報

(単位:百万円)

	2024年9月				2025年3月				2025年9月			
その他目的	時価	評	価 差	額	時 価	評	価 差	額	時 価	評	価 差	額
	<u>aa</u> 1m1		うち益	うち損	명 1Ш		うち益	うち損			うち益	うち損
その他目的 合計	23,895	△ 1,438	321	1,759	23,273	△ 2,152	324	2,476	27,446	Δ 2,078	435	2,513
株式	492	292	292	-	517	317	317	-	587	387	387	_
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	13,819	△ 678	17	696	14,203	△ 1,288	1	1,290	17,956	△ 1,540	1	1,541
そ の 他	9,583	△ 1,051	11	1,063	8,553	△ 1,180	4	1,185	8,902	△ 925	46	972

- (注) 1. 「時価」は期末日における市場価格等に基づいております。
  - 2. なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式に係る含み損益は以下のとおりであります。

	2024年9月				2025年3月				2025年9月			
満期保有目的	時 価	評	価 差	額	時 価	評	価 差	額	時 価	評	価 差	額
ię – "	<u>a</u> 1m⊓		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的 合計	4,322	13	16	3	4,297	△ 10	7	17	4,299	△7	4	11
子会社・関連会社	-	_	_	_	_	-	_	_	_	_	_	_

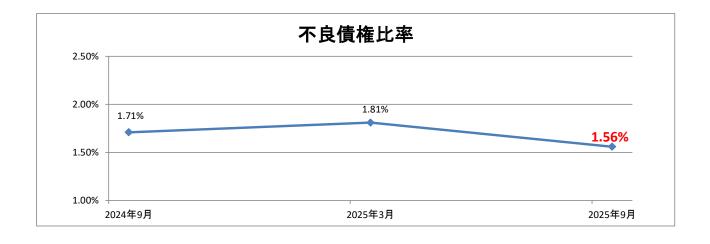
# 金融再生法ベースの開示債権と保全の状況(単体)

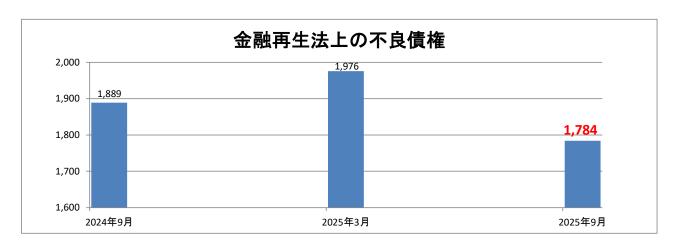
金融再生法上の不良債権額は、2025年3月期に比べ1億92百万円減少し17億84百万円となり、

不良債権比率は1.56%となりました。

(単位:%、百万円)

1200122110110000			(十四・/00 日/3/13/
	2024年9月	2025年3月	2025年9月
金融再生法上の不良債権(A)	1,889	1,976	1,784
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	416	373	335
危険債権	1,472	1,603	1,448
要 管 理 債 権	0	О	0
正 常 債 権 (B)	107,953	107,145	112,344
合 計 額(C)=(A)+(B)	109,842	109,122	114,128
(不良債権比率) (A)/(C)	1.71 %	1.81 %	1.56 %
保 全 額 (D)	1,728	1,799	1,623
貸 倒 引 当 金	246	256	228
担 保 保 証 等	1,481	1,543	1,395
保 全 率 (D)/(A)	91.47 %	91.05 %	91.02 %





# 貸出金の内訳(業種別)

(単位:百万円)

業 種 別 区 分 (日本標準産業分類改定後)	<b>2024年9月</b> (仮決算償却後)	<b>2025年3月</b> (償却後)	<b>2025年9月</b> (仮決算償却後)
製	2,449	2,591	2,824
農業、林業	157	147	164
漁業	12	5	4
鉱業、採石業、砂利採取業	0	0	0
建 設 業	11,159	11,373	11,366
電気・ガス・熱供給・水道業	172	177	150
情 報 通 信 業	226	228	174
運 輸 業 、 郵 便 業	977	977	930
卸 売 業 ・ 小 売 業	10,917	10,627	10,697
金融業、保険業	2,583	2,558	2,569
不 動 産 業	29,313	29,885	32,865
物品質質業	416	380	396
学 術 研 究 、 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	580	612	589
宿泊業	94	87	142
飲食業	3,191	3,009	3,125
生活関連サービス業、娯楽業	2,428	2,439	2,344
教育、学習支援業	451	442	435
医 療 • 福 祉	968	988	1,030
そ の 他 の サ ー ビ ス	2,794	2,532	2,542
ル at a fit	68,896	69,066	72,356
地 方 公 共 団 体	12,175	11,082	12,632
個 人(住 宅・消 費・納 税 資 金 等)	28,193	28,471	28,766
습 計	109,265	108,620	113,756

<sup>(</sup>注)業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

# 2025年度トピックス ~地域の皆様とともに~

くましんは、経営理念である「地域社会に奉仕する」のもと、企業や家庭、そして郷土「くまもと」の繁栄に少しでも役立つために、 地域行事への参加をはじめとする、様々な地域社会振興のための活動を行っております。

毎月	「よろず支援拠点経営相談会」の実施	下記詳細
7月	「Keisui Kids Town」への参加(御幸田迎支店)	写真①
7 /5	「本妙寺頓写会」への参加(上熊本支店)	写真②
	火の国まつり「おてもやん総おどり」への参加	写真③
	「菊陽町夏祭り」への参加(菊陽支店)	
8月	「杉並木クリーン作戦」への参加(菊陽支店)	
	「宇土地蔵祭」への参加(宇土支店)	写真④
	「川尻わっしょい2025」への参加(川尻支店)	
9月	やまびこ保育園運動会への来賓参加(健軍支店)	

2

4

1



恵水幼稚園で開催されたお仕事体験イベントにおいて、金融機関としてブースを設置しました。



本妙寺頓写会にて、屋台(金魚すくい)の手伝いや 清掃活動に協力しました。

3



熊本市恒例の火の国祭り「おてもやん総おどり」に 大勢の職員が参加しました。



「うと地蔵まつり」にて、大勢の職員がダンスパレー ドに参加しました。

#### 「よろず支援拠点経営相談会」の実施

当金庫は、「よろず支援拠点」と連携し、2014年11月より毎月経営相談会を開催しております。中小企業者様の様々な経営課題に対し、豊富な経験を有する専門家が親身になって相談をお受けし、売上拡大、商品開発、経営改善等のアドバイスを行っています。

《2025年度上期の取組み状況》

「よろず支援拠点経営相談会」

2025年4月2日(第516回)から2025年9月25日(第545回)までの実施回数30回

相談企業者数:22企業者(2025年度 新規相談企業者のみの累計)

場 所:くましんビジネスサポートプラザ(BSP)

開催日:毎月5回 1日5件迄時 間:1時間30分個別相談

